



行き場のない被災地のがれき

《大熊 公平》

東日本大震災への支援について

問 市内に自主避難されている御家族への対応はどうか。

答 18世帯53人の方が来られている。総務課が総合窓口となり、一時的でなく将来的にも、忘れることなく、せっかく総社市を訪ねて頼って来られたのだから、厚くお守りしたい。(市長)

問 支援策を条例化することを考えてはどうか。

答 条例を作らず、柔軟に個別に対応した方が救える範囲が増えると考えます。(市長)

問 被災地から、瓦礫の受け入れ要請があるがどうか。

答 見て見ぬふりをするのも、心苦しい。お互いに助け合いたいとの気持ちは強いが、市民を守っていくのが私の役割だ。にわかには震災瓦礫を受け入れることはない。(市長)

学校給食について

問 児童・生徒の内部被ばくが心配だ。給食食材の放射能汚染は本当に大丈夫なのか。

答 野菜については県内産・総社産で75%。肉、魚、加工品も基準値をクリアしたものを使っている。(教育長)

問 産地の公表はどうか。

答 主食、牛乳、肉類、野菜については公表していく。(教育長)

《萱原 潤》

市長の政治姿勢について

問 教育改革と礼儀・礼節の向上、総社礼儀委員会の設置など、市長自らが様々な場で発言している。一連の言動は、首長の教育への不介入と矛盾しないか。教育行政への首長の関与、教育委員会の政治的中立性ということに対し、市長はどのように考えているのか。

答 教育委員会に關与するつもりはない。教育への不介入は守る。(市長)

問 教育委員会は、教育行政に關する市長と教育委員会の権限について、どうあるべきと認識をしているのか。総社市教育委員長としての見解を示されたい。

答 教育においては、政治的中立性の確保が強く要請されている。そのことを踏まえ、法律の定めるところにより職

務を果たしていく。(教育委員長)

問 市長の行政推進の基本的姿勢は、声なき声をしっかりと受け止め、二元代表制の重みを認識し、議会とよく相談をしながら行政の推進、政策の推進を図って行くと思われているのか。

答 そう捉えていただければ結構である。(市長)



市長の政治姿勢を質した

《津神 謙太郎》

防災について

問 市が指定している避難所には、震度6強や浸水5m以上になる地域があるが、避難所として本当に適しているのか。また、避難所に太陽光発電及び無線の設置の考えはないか。

答 土砂災害・風水害・地震と異なる種類があるが、本当に安全性を優先した避難

場所設定というのをすべきだと考える。財政の問題もあり、今年度は発電機2台と衛星電話2機を購入予定としている。(市長)

問 防災対策としての河川及び道路の改修等を速やかにすべきと考えるがどうか。

答 重要性は分かっているが、財政と相談しながら順次進めていくような方向で考えている。(市長)

教育行政について

問 子どもたちが不審者による被害に遭う事件があるが、不審者・変質者の対策はできているのか。

答 各小学校区で子どもを守る会ができており、また、各学校も危機管理マニュアルに基づいて不審者対策を行っている。(教育長)

《秋山 律郎》

財政の健全化について

問 財政の健全化について改革断行とあるが、どのように進めるのか。具体的な方法と数値目標はどうか。また、合併後の現在、今の市長職は合併算定替の終了まで見極める責任があると思うがどうか。

答 確固たる決心をもって予算配分をしなければならぬ。特定の政策課題を除いて来年

堀家住宅について

問 総社の町、門前町を物語

度の予算も、本年と同様、ゼロシーリングでやりたいと思う。地域の課題もできませんと言わざるを得ない。財政的には大変厳しい将来像がある。合併算定替後の地方交付税の減額に対して予算編成をどうするか、考えるとぞっとするが、それを完遂させる責任はあると自覚している。(市長)

る大切な建物であるが、老朽化が著しく崩れ落ちる可能性もある。今まで放置していたのは良い財源がなかったことと、利用計画がないことではないか。財源でいうと、国土交通省の補助事業で有利なものがある。考えたらどうか。

答 堀家住宅をどう活用するかは明確な方針がある。補助事業については研究する。(市長)



河川敷で行われた防災訓練(清音上中島)



老朽化が心配される堀家住宅(総社二丁目)